

熊谷組の社会貢献活動



社会貢献活動に対する基本的な考え方

社会貢献活動の必要性

今般の社会課題は、企業をはじめとするあらゆる組織が取り組まなくては解決できない、待ったなしの問題ばかりです。

企業を取り巻く状況が厳しさを増す一方で、企業の社会的責任に対する関心は一層高まりつつあります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



熊谷組の社会貢献活動

熊谷組は「難所難物があったら私にやらせてください」「世の中のためになる仕事をさせてください」という創業の精神を現在も引き継いでおり、当社の社会貢献活動に対する基本的な考え方とし、地域に根差した事業活動を通して社会から信頼され必要とされる企業をめざしてきました。

熊谷組は、会社としての地域社会への貢献活動を取りまとめ、活動が見える化し、会社が金銭的な支援をすることでさらに大きな社会貢献活動に繋げる仕組みを考えました。

社員一人ひとりの活動に対して、より大きな社会貢献を生み出す仕組みとして2019年5月に始まったのが「熊谷組スマイルプロジェクト」です。

- 社会貢献活動に参加した社員数に応じて、会社が社会貢献活動費を拠出するマッチングギフトを応用した仕組みです。
- 1名の社員が社会貢献活動に参加すると、プラットフォームに1ポイント付与されます。
- 1ポイントは1万円で計算されます。ボランティアに参加した社員の延べ人数がポイントに加算されます。また、2024年度より、派遣社員やグループ会社の社員もカウントに含むことにしました。
（*）活動の報告を行うのは、2025年度時点では熊谷組社員に限定しています。

期待される効果

●社会貢献を身近に

各拠点の活動を可視化・一元化することで、社員が意欲的に社会貢献活動ができる環境を醸成します。

●小さな力をより大きく

社員一人ひとりの活動に会社が拠出することで、相乗効果を生み出し、活動の幅を広げます。

●一人ひとりの力をチームの力に。

社員が熊谷組の“いいところ”を知るきっかけとなり、一人ひとりの力がチームの力につながる活力あふれる会社を目指します。

熊谷組スマイルプロジェクト

熊谷組スマイルプロジェクトは2019年から運用している社会貢献活動プラットフォームです。社員の社会貢献活動をポイントにして、ポイント数に応じて熊谷組が社会貢献費を拠出しています。拠出金は災害義援金や団体支援、クマスタ活動費に充てられています。

- ① 社員が社会貢献活動を行い、活動報告書を事務局へ提出
- ② 社会貢献した社員ひとり当たり1ポイントとして集計
- ③ 年間ポイント累計額相当の資金を会社が拠出する
(1ポイントは1万円として集計)
- ④ 会社からの拠出金を社会貢献費に活用する



熊谷組スマイルプロジェクト推進の仕組み

ボランティア支援制度に関する取扱規程

2008年に策定。
社内外のニーズに合わせ、柔軟に改定しています。

ボランティア休暇

ボランティア休暇として1年に3日まで特別有給 休暇を取得することができます。ボランティア休暇は半日での取得や時間単位での取得も可能です。

ボランティア保険

社員がボランティアに参加する際に手続きを会社が行います。

サステナビリティ推進委員会報告

経営会議体のひとつであるサステナビリティ推進委員会にて活動の報告を行っています。

活動報告

1件ごとにイントラに活動報告を掲載しています。
月次・年次の報告も行っています。

本部・支店のスマイルプロジェクト担当者

各本部・支店に担当者を設置しています。事務局からの情報の展開や、事務的なサポートを担っていただいています。
年に2～3回、全体会議を実施し、方向性の検討、活動の共有を行っています。

これまでの実績

	述べ人数	主な取組み
2019年	1,509名	<ul style="list-style-type: none">・ポイントの用途として団体支援を決定、支援先を選定・本部、支店の担当者を選任
2020年	1,307名	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍の対応として、新たにセルフウォークリレー、献血活動、備蓄品や食品の寄付など人との接触を最小限にした活動・福祉関連活動の参加者が増加
2021年	1,850名	<ul style="list-style-type: none">・ウクライナ支援・新規支援先団体の検討
2022年	2,190名	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍の影響で中止となっていた活動が、感染対策を行いながら、徐々に再開・本部と支店のスマイルプロジェクト担当者会議を開催・「ボランティア保険」の加入手続き方法の標準化・新規支援先団体として一般社団法人日本障がい者サッカー連盟(JIFF)を選定・ウクライナ支援・トルコ・シリア大地震支援
2023年	1,875名	<ul style="list-style-type: none">・スマイルプロジェクトアンケートの実施・令和6年能登半島地震支援
2024年	2,312名	<ul style="list-style-type: none">・ポイントのカウント方法の変更と対象者の拡大・社員からの活動報告方法を効率化・経団連1%クラブ加入・新規支援先団体として公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)を選定
2025年	2,621名	<ul style="list-style-type: none">・ミャンマー地震支援・職員会イベントへの協賛(障がい者就労活動支援)・社会貢献活動パンフレット「熊谷組グループの社会貢献活動」を発行

社員の活動

社会貢献活動実績
2026年2月末 現在
活動件数 149件
延べ人数 2,621名

Kumagai Star Project

熊谷組の国際社会貢献活動の総称です。2015年に「国際社会貢献としての学校校舎建設」プロジェクトとして発足し、これまでにミャンマーにて3校の小中学校の校舎を建設しました。また、そこに通う生徒への奨学金の支援や、生徒が中学校を卒業するまで手紙等で交流する「見守り社員」制度を設け、多くの社員が関わってきました。



◀表彰実績▶

- ・12回日本パートナーシップ大賞
グローバルスマイル賞受賞/2017年
- ・第3回けんせつ小町活躍推進表彰
優秀賞受賞/2018年
- ・JIAゴールドエンキューブ賞 2019/2020
特別賞受賞/2020年

社員によるおもな社会貢献活動



スワンベリーカーリー販売会



JIFF インクルーシブ教育プログラム



備蓄品の寄付



WWFジャパン土壌改良ボランティア



子育てひろば全国連絡協議会



支店での活動